



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月2日

上場会社名 株式会社 アルメディオ
コード番号 7859 URL <https://www.almedio.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 靖
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・情報開示・IR担当 (氏名) 関 清美
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 042-511-0500

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,997	78.4	495		502		298	
2022年3月期第3四半期	2,240	16.9	6		8		34	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 464百万円 (769.1%) 2022年3月期第3四半期 53百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	16.87	16.76
2022年3月期第3四半期	2.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	5,390	3,616	66.9
2022年3月期	4,349	2,751	62.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,607百万円 2022年3月期 2,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,022	53.8	355	375.5	400	309.5	187		10.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	18,623,316 株	2022年3月期	15,772,316 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	111,437 株	2022年3月期	111,437 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	17,683,220 株	2022年3月期3Q	14,800,769 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算補足説明資料関係

・当該補足説明資料は、Financial Data Bookとして当社ウェブサイト(<https://www.almedio.co.jp/>)のIR情報ページに掲載いたします。Financial Data Bookには、事業別売上高ほか業績推移等をまとめております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「中期経営計画2022」の達成に向けた取り組みを推進し、事業構造改革のスピードを上げ、機能性材料メーカーへの転換を目指して初年度の計画実行に取り組んでおります。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,997百万円（前年同四半期比78.4%増）となりました。利益面は、営業利益495百万円（前年同四半期は営業損失6百万円）、経常利益502百万円（前年同四半期は経常利益8百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益298百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失34百万円）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」としていたナノマテリアル事業の重要性が増したため、報告セグメントを「その他事業」から「ナノマテリアル事業」に変更しております。

断熱材事業

当事業は、連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司において、電子部品用副資材、耐火材料及び関連製品の開発・製造・販売を行っており、当社でも同社製品を中心とした輸入販売を行っております。

国内は、主に工事案件を継続的に受注したことに伴い、炉材の販売が増加し、受注先の別の拠点からも引合いを受けております。また、好反応を得ている業種や顧客への横展開営業活動も展開し、成果が出ております。その他、断熱材に拘らない商材の販売が定期的な受注により増加しました。

阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司は、異型成形品及び産業炉の販売が増加しました。特に太陽光発電パネル製造向け拡散炉用ヒーターモジュールが大幅に伸張しており、2023年3月期は引き続き売上の拡大を見込んでおります。また、中国の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、連結子会社阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司においても従業員の一部が新型コロナウイルスに感染いたしました。出荷調整等の施策により業績への影響はありませんでした。

なお、為替レートが前年同四半期と比べ円安に進んだことに伴い円換算額が増加しました。

以上により、断熱材事業の売上高は3,178百万円（前年同四半期比113.0%増）となりました。

アーカイブ事業

当事業は、重要な情報を長期に亘って保存及び利用するための長期保存用光ドライブと長期保存用光ディスクの販売を行う「アーカイブ」と、産業用及びAV機器用光ドライブの開発・製造・販売を行う「ストレージソリューション」が含まれます。

アーカイブは、医療機器向けが引き続き好調に伸張したことや、監視映像記録向け大型案件の受注等により、長期保存用光ドライブの販売が増加しました。一方、写真プリント店の端末向けの販売は順調に推移していますが、前年同四半期の売上高を僅かに下回りました。

ストレージソリューションは、産業機器用光ドライブの販売において、物流停滞の不安や半導体不足の影響から前倒し受注が継続していた米国向けの販売が、当第3四半期連結会計期間は例年の規模での受注となりましたが、前年同四半期の売上高を上回りました。

以上により、アーカイブ事業の売上高は771百万円（前年同四半期比9.9%増）となりました。

インダストリアルソリューション事業

当事業は、オーディオ・ビデオ機器やコンピュータ周辺機器等の規準及び調整用テストディスク等の開発・製造・販売を行っております。

テストメディア使用量の減少により、主要顧客であるカーオーディオ・カーナビ等の車載機器メーカー向けの販売が、前年同四半期の売上高を下回りました。また、AV機器市場及びPC市場においても、引き続き光ディスク以外の媒体への移行が進んでいることから需要は減少しました。

以上により、インダストリアルソリューション事業の売上高は29百万円（前年同四半期比22.6%減）となりました。

ナノマテリアル事業

当事業は、ナノマテリアルの研究開発・製造及び販売を行っており、ナノサイズの繊維状炭素を製品化しております。

有償でのサンプル品の販売を行い、国内外共に幅広い業種へのサンプル出荷が増えております。また、本格採用の道筋が見えてきた顧客への対応を強化し、早期に採用されるよう取り組んでおります。これらの取り組みにより、一部の顧客においては最終段階テストやスケールアップテストを行う段階にまで進展しております。こうした中、産業分野の半導体製造装置で使用する部材での採用が決まりました。採用された材料の使用量はまだ少量ではありますが、航空宇宙・自動車関連市場に加え産業分野でもCNF用途が見込まれ、本採用を足がかりに横展開営業活動を推進してまいります。

なお、福島双葉工場は、半導体不足の影響により遅延していた設備を含め全ての設備が揃い、最終納品された設備の設置工事や試運転も完了し、経験を積んだ従業員4名の異動を含む11名で稼働を開始しております。半導体不足の影響を受け、当初の予定より稼働開始が約2ヶ月遅延しましたが、生産体制構築にあたり大きな影響はなく、順次生産・出荷を進めてまいります。

以上により、ナノマテリアル事業の売上高は17百万円（前年同四半期比144.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、福島双葉工場の建屋及び設備の取得による有形固定資産の増加、並びに取得にかかる代金を計上したことによる建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末と比べて1,041百万円増加し、5,390百万円となりました。負債は、断熱材事業の好調な業績により未払法人税等が増加、及び受注増加に伴う前受金の増加等により、前連結会計年度末と比べて175百万円増加し、1,774百万円となりました。純資産は、減資による資本金及び資本剰余金の減少、新株予約権の権利行使による資本金及び資本剰余金の増加、欠損填補及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末と比べて865百万円増加し、3,616百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、2022年11月2日に公表いたしました通期の連結業績予想と比較し、売上高が79.6%、営業利益139.4%、経常利益125.5%、親会社株主に帰属する当期純利益が159.4%の進捗率となっております。また、仕入価格上昇率の縮小や収益改善策の成果等による売上原価の減少、並びに、福島双葉工場の設備の稼働時期遅延による減価償却費未計上によって、計画値より営業利益が増加しました。

しかしながら、第4四半期連結会計期間においては、福島双葉工場の減価償却費が予定通り計上されることなど、利益が減少する要因を含んでおります。さらに、2022年12月末時点での連結子会社・阿爾賽（蘇州）無機材料有限公司の期末決算数値を日本の会計基準に組み替える過程であらためて精査が必要であるため、2023年3月期の連結業績予想については、現時点では据え置きとさせていただきます。

業績予想の修正を要する場合の具体的な数値につきましては引き続き精査し、その結果として業績予想の修正を要することが判明いたしましたら、速やかに開示を実施いたします。

※ 当第3四半期連結累計期間に使用した人民元の為替換算レート 1人民元=20.36円

2023年3月期決算に使用する人民元の為替換算レート 1人民元=19.02円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,323	1,313,926
受取手形及び売掛金	1,317,790	1,784,623
商品及び製品	464,143	275,890
仕掛品	57,014	44,168
原材料及び貯蔵品	176,500	153,425
その他	155,994	262,325
貸倒引当金	△23,444	△17,719
流動資産合計	3,686,323	3,816,638
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	73,361	558,587
建設仮勘定	162,316	450,400
その他(純額)	325,122	459,741
有形固定資産合計	560,800	1,468,729
無形固定資産	569	3,493
投資その他の資産	101,492	101,357
固定資産合計	662,861	1,573,579
資産合計	4,349,184	5,390,218
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,632	157,404
短期借入金	243,980	200,000
1年内返済予定の長期借入金	13,300	501,294
未払法人税等	29,594	113,937
前受金	260,655	338,474
賞与引当金	56,421	57,767
その他	118,722	200,293
流動負債合計	955,307	1,569,172
固定負債		
長期借入金	500,000	-
退職給付に係る負債	40,845	41,924
その他	101,992	162,929
固定負債合計	642,837	204,853
負債合計	1,598,145	1,774,025
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,607,379	1,215,124
資本剰余金	1,560,759	1,168,504
利益剰余金	△494,316	1,003,943
自己株式	△88,785	△88,785
株主資本合計	2,585,036	3,298,787
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	142,204	308,435
その他の包括利益累計額合計	142,204	308,435
新株予約権	23,798	8,970
純資産合計	2,751,038	3,616,192
負債純資産合計	4,349,184	5,390,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	2,240,576	3,997,779
売上原価	1,622,415	2,785,989
売上総利益	618,160	1,211,789
販売費及び一般管理費	624,210	716,022
営業利益又は営業損失(△)	△6,050	495,766
営業外収益		
受取利息	1,970	1,224
受取配当金	281	285
為替差益	17,283	5,956
助成金収入	560	5,361
その他	297	919
営業外収益合計	20,394	13,748
営業外費用		
支払利息	1,815	4,360
新株予約権発行費	3,901	-
株式交付費	-	1,839
その他	345	1,197
営業外費用合計	6,062	7,397
経常利益	8,281	502,117
特別利益		
新株予約権戻入益	-	440
特別利益合計	-	440
特別損失		
固定資産売却損	-	1,200
固定資産除却損	376	177
特別損失合計	376	1,378
税金等調整前四半期純利益	7,904	501,179
法人税、住民税及び事業税	31,099	141,982
法人税等調整額	10,980	60,936
法人税等合計	42,079	202,919
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,175	298,260
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,175	298,260

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,175	298,260
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	87,620	166,230
その他の包括利益合計	87,620	166,230
四半期包括利益	53,445	464,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,445	464,491
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	断熱材事業	アーカイブ事業	インダストリアルソリューション事業	ナノマテリアル事業	
売上高					
外部顧客への売上高	1,492,600	702,435	38,295	7,244	2,240,576
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,492,600	702,435	38,295	7,244	2,240,576
セグメント利益又は損失(△)	164,999	82,470	23,638	△112,430	158,677

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	158,677
全社費用(注)	△164,727
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△6,050

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	断熱材事業	アーカイブ事業	インダストリアルソリューション事業	ナノマテリアル事業	
売上高					
外部顧客への売上高	3,178,603	771,798	29,648	17,729	3,997,779
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,178,603	771,798	29,648	17,729	3,997,779
セグメント利益又は損失(△)	669,390	118,817	16,977	△133,611	671,574

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	671,574
全社費用(注)	△175,807
四半期連結損益計算書の営業利益	495,766

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」としていたナノマテリアル事業の重要性が増したため、報告セグメントを「その他事業」から「ナノマテリアル事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。